

1 はじめに

本校の今年度の特別活動の目標は、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組む生徒を育成する」、「生徒が互いの良さや可能性を発揮し集団や自己の課題を解決することを通して、社会参画（集団での合意形成と自己の意思決定）や人間関係の形成及び自己実現を図ろうとする態度を養う」である。これらの目を達成するため、以下の内容に重点をおいて取り組んだ。

2 取組内容

(1) 生徒主体による行事の実施

ア 壮行会

総体や新人戦の壮行会において、各部の部長が決意表明を行い、下級生が3年生への感謝のメッセージを作成するなど、自分たちの思いをそれぞれ形にし発表を行った。



【壮行会】

イ 小松ヶ丘祭

実行委員会を中心に、「生徒たちが日頃頑張っている取組を発表すること」をテーマに、オーストラリア研修発表、英語プレゼンテーション発表といった学習の成果を発表した。

また、もう一つのテーマである「本気で楽しもう」では、生徒の特技を発表するT1グランプリやクラスの団結力を深める学級対抗最強クラス決定戦を実施した。生徒たちが自ら計画、実行したことで、小松ヶ丘祭は活気あふれるものとなった。



【小松ヶ丘祭】

(2) ICT機器を活用した行事の運営

感染症対策のため、ICTを活用した生徒会立会演説会を実施した。立候補者の生徒が体育館で演説を行い、その様子をteamsにより教室で共有した。その後、formsのアンケート機能を活用し投票を行った。生徒一人一人が立候補者の想いをしっかり聴くことができた演説会となった。



【生徒会選挙】

3 成果と課題

昨年度までの特別活動を見直し、生徒が取り組んできた成果を発表する機会を確保するとともに、ICTを効果的に活用した生徒主体の発表の場を設定した。その結果、生徒アンケートによる「生徒主体の行事企画・運営」について肯定的な回答をした生徒の割合は95%であった。

次年度以降も、年度当初に生徒会主体による特別活動の実施に向けた詳細な年間計画を議論させたい。そして、「自分たちでつくりあげる特別活動」という意識を全校生徒に広められるようにしたい。